

岡山県感染症週報 2017年 第43週 (10月23日～10月29日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2017年 第43週 (10/23～10/29) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第41週 2類感染症 結核 1名 (60代 男)
- 第42週 2類感染症 結核 2名 (40代 男 1名、60代 男 1名)
- 4類感染症 レジオネラ症 2名 (70代 男 1名、80代 男 1名)
- 5類感染症 クロイツフェルト・ヤコブ病 1名 (60代 女)
- 梅毒 1名 (20代 男)
- 第43週 2類感染症 結核 2名 (20代 男 1名、80代 男 1名)
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1名 (O157: 30代 女)
- 4類感染症 レジオネラ症 1名 (50代 男)
- 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1名 (70代 男)

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点84、小児科定点54、眼科定点12、STD定点17、基幹定点5

- RSウイルス感染症は、県全体で94名(定点あたり1.91→1.74人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で59名(定点あたり1.07→1.09人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第44週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 1名 (O26: 小学生 男) の発生がありました。(11月1日)

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、1名の報告があり、2017年第43週まで(～10/29)の報告数は58名となりました。さらに第44週(11/1)にも1名の報告があり、依然として患者が発生しています。岡山県では、ひきつづき「**腸管出血性大腸菌感染症注意報**」を発令し、注意喚起を図っています。手洗いなどを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで十分に火を通すなどの食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. **RSウイルス感染症**は、県全体で94名(定点あたり1.91→1.74人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。患者数の大きな増加はみられませんが、依然として過去10年間の同時期と比較して高いレベルで推移しています。地域別では倉敷市(3.36人)、備中地域(2.29人)、美作地域(2.00人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、備北地域を除く全ての地域で患者が報告されています。全国の第42週(10/16～10/22)の発生状況は、定点あたり報告数が1.26人であり、5週連続で減少しました。都道府県別では、熊本県(3.44人)、福岡県(2.88人)、高知県(2.80人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。例年、秋から冬にかけて多くの患者が報告されています。ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、特に重症化しやすい乳児がいる家庭では、感染予防に努めてください。
3. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で59名(定点あたり1.07→1.09人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去10年間の同時期と比較して高いレベルで推移しています。地域別では、倉敷市(2.00人)、備北地域(1.25人)、備前地域(1.10人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、真庭地域を除く全ての地域で患者が報告されています。この感染症は、突然の発熱と体のだるさ、のどの痛みで発症し、しばしばおう吐を伴います。また、口腔内に小点状出血あるいは莓舌(イチゴのように赤くブツブツしている舌)がみられることがあります。のどの痛みがひどい場合は、柔らかい薄味の食事など調理の工夫をし、こまめな水分補給を心がけてください。就学前から学童期の小児に多く、学校などで集団感染することもあります。患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗いを励行するなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎			クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ：大幅な増加 ：増加 ：ほぼ増減なし ：大幅な減少 ：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。（発生数が多いことを示すものではありません。）
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

保健所別報告患者数 2017年 43週(定点把握)

(2017/10/23~2017/10/29)

2017年11月2日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	1	0.05	-	-	1	0.07	-	-	-	-	2	0.67	1	0.10
RSウイルス感染症	94	1.74	26	1.86	37	3.36	2	0.20	16	2.29	-	-	1	0.50	12	2.00
咽頭結膜熱	4	0.07	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	1.09	14	1.00	22	2.00	11	1.10	3	0.43	5	1.25	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	320	5.93	102	7.29	41	3.73	51	5.10	39	5.57	24	6.00	7	3.50	56	9.33
水痘	14	0.26	6	0.43	6	0.55	-	-	-	-	-	-	1	0.50	1	0.17
手足口病	70	1.30	44	3.14	12	1.09	8	0.80	2	0.29	-	-	-	-	4	0.67
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	18	0.33	6	0.43	9	0.82	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	0.17	1	0.07	4	0.36	1	0.10	-	-	1	0.25	2	1.00	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	7	1.40	2	0.50	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2017年 43週(発生レベル設定疾患)

(2017/10/23～2017/10/29)

2017年11月2日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	1	0.05	-	-	1	0.07	-	-	-	-	2	0.67	1	0.10
咽頭結膜熱	4	0.07	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	1.09	14	1.00	22	2.00	11	1.10	3	0.43	5	1.25	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	320	5.93	102	7.29	41	3.73	51	5.10	39	5.57	24	6.00	7	3.50	56	9.33
水痘	14	0.26	6	0.43	6	0.55	-	-	-	-	-	-	1	0.50	1	0.17
手足口病	70	1.30	44	3.14	12	1.09	8	0.80	2	0.29	-	-	-	-	4	0.67
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	0.17	1	0.07	4	0.36	1	0.10	-	-	1	0.25	2	1.00	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	7	1.40	2	0.50	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2017年 第43週 2017/10/23~2017/10/29)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	5	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	94	25	23	24	14	5	2	1	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	4	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	1	-	1	1	3	8	11	9	6	6	6	4	2	1
感染性胃腸炎	320	4	19	65	29	28	20	23	18	15	14	14	24	6	41
水痘	14	-	-	1	3	2	1	1	3	1	-	1	1	-	-
手足口病	70	-	4	21	17	11	4	7	3	1	1	-	1	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	18	-	4	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	-	-	2	1	2	-	1	-	3	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	-

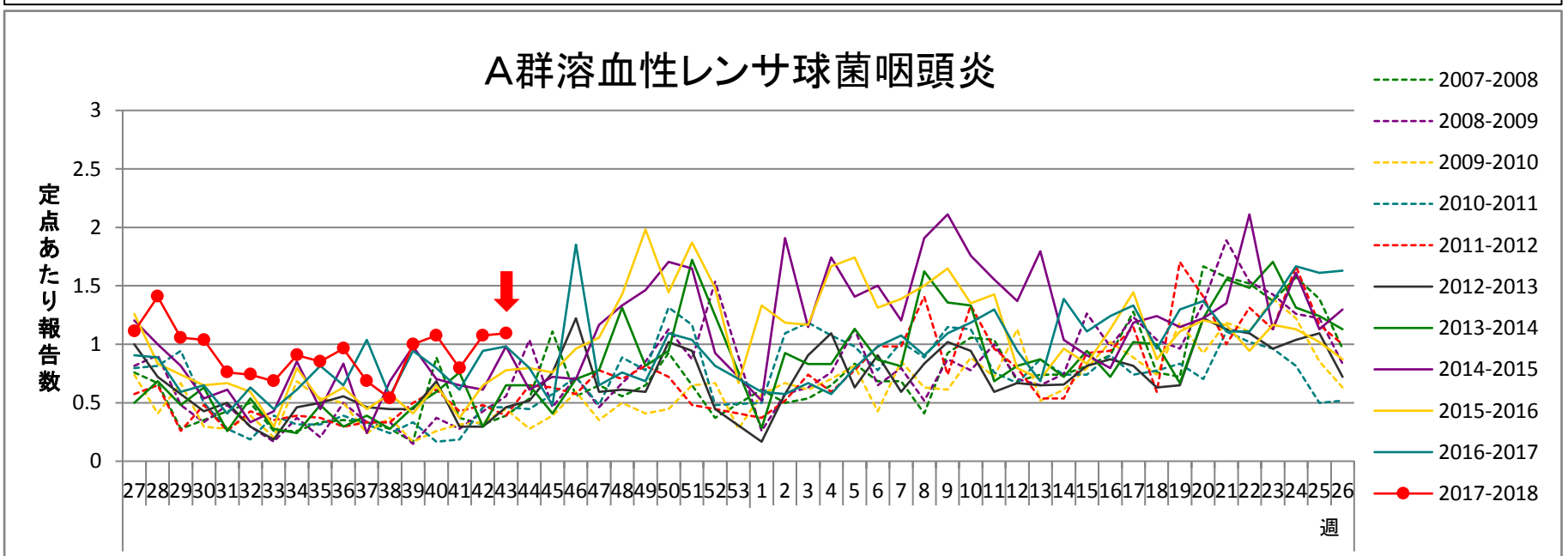
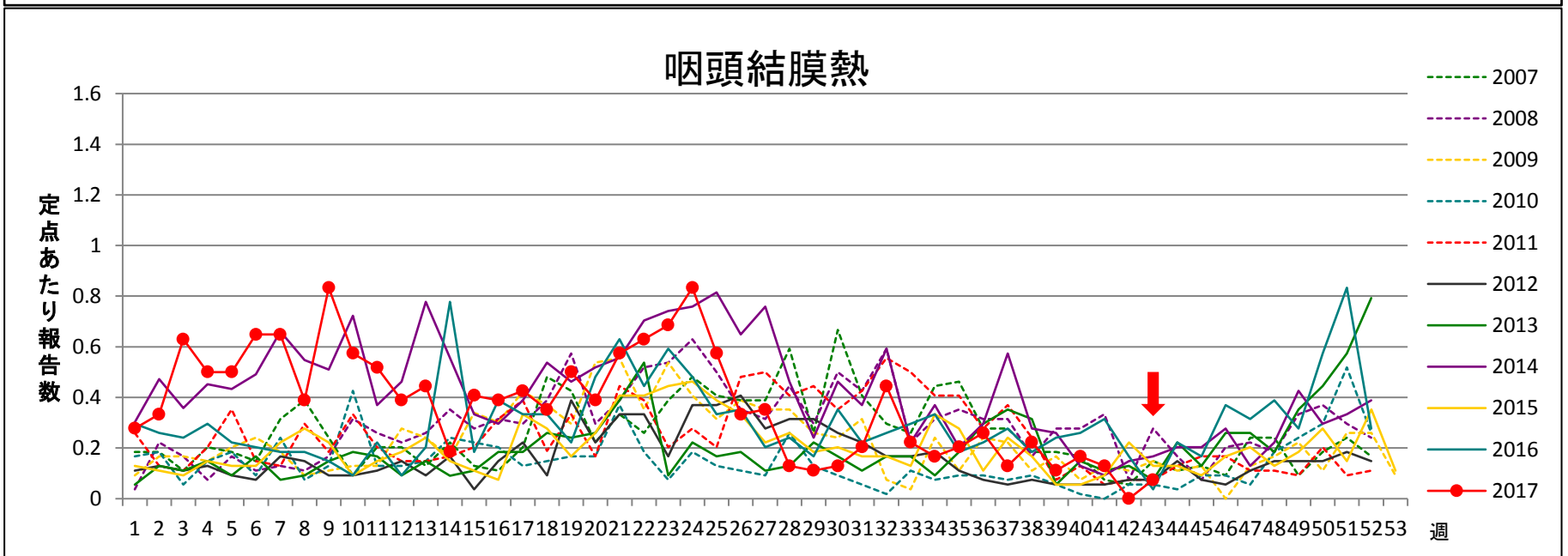
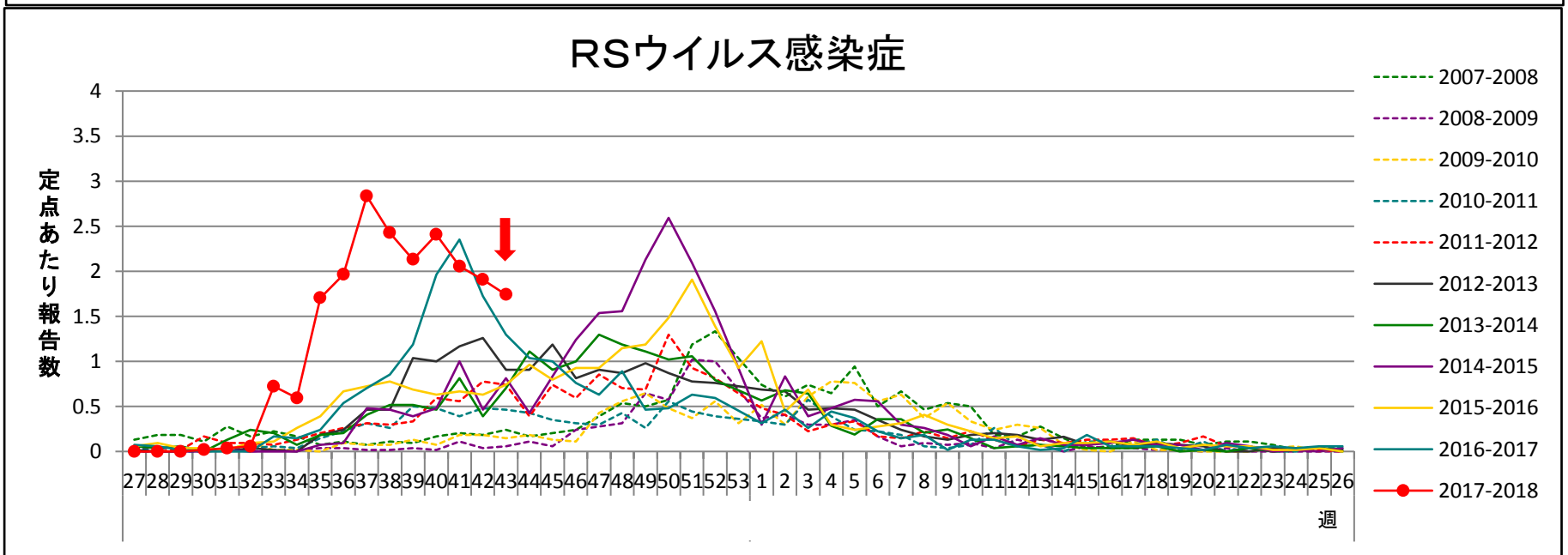
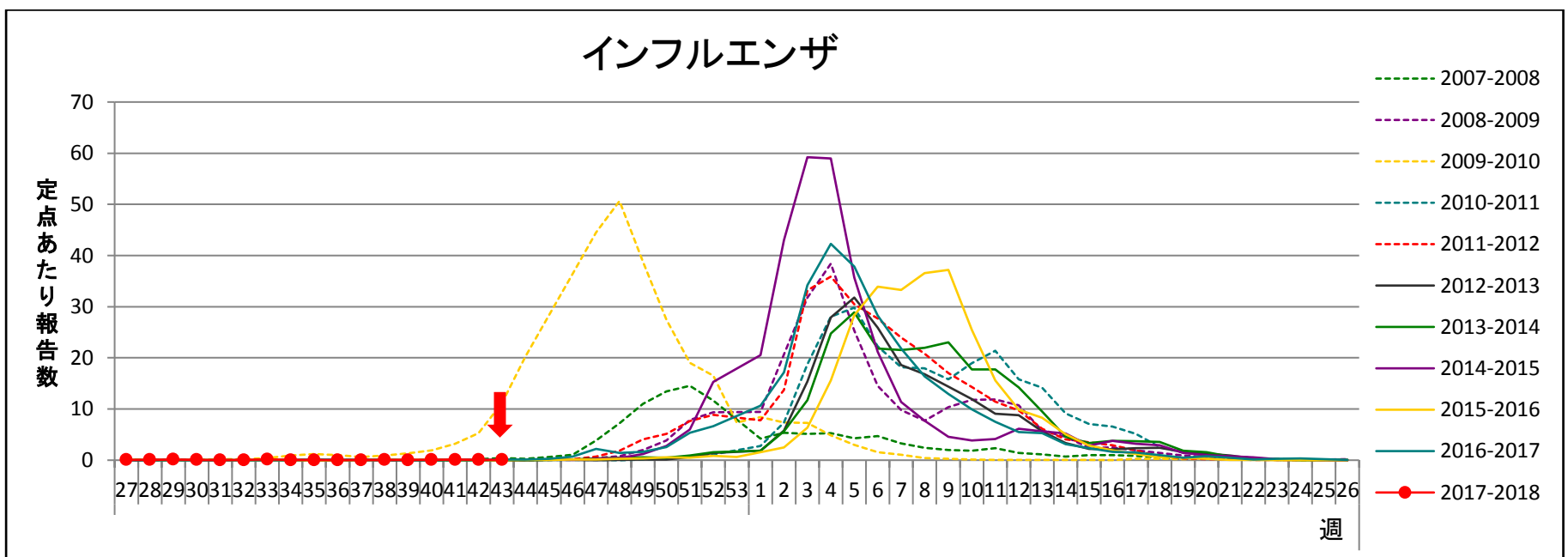
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

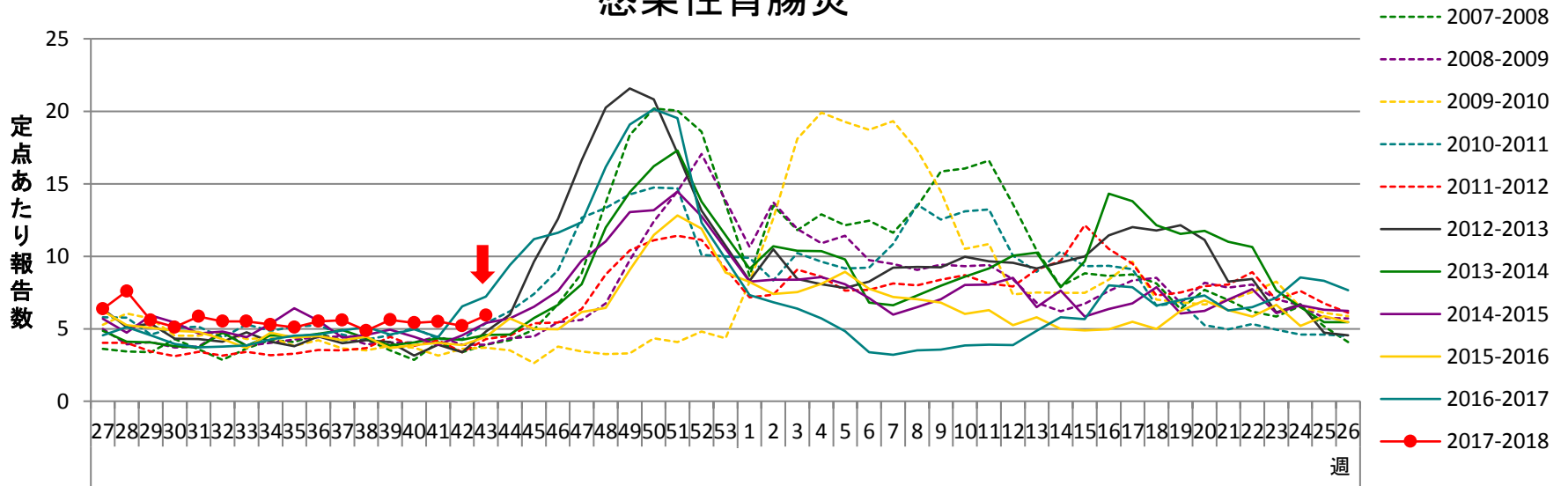
全数把握 感染症患者発生状況

2017年 43週

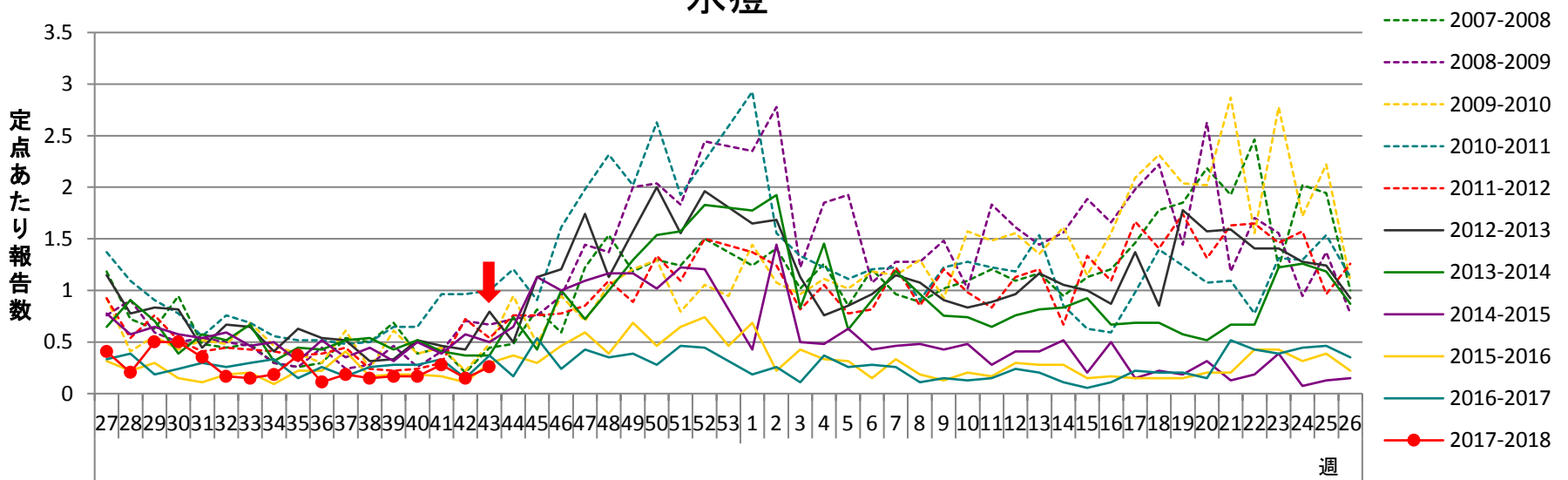
分類	疾病名	2017			疾病名	2016			疾病名	2017			2016		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年			
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	287	311	ジフテリア	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	2	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	1	58	65	-	-	-
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-	-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	4	3	-	-	-
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	1	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	-	-	-
	デング熱	-	2	1	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	1	日本紅斑熱	-	7	5	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-	-	-	-
	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	25	26	-	-	-
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	19	18	ウイルス性肝炎	-	8	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	1	13	28	-	-	-
	急性脳炎	-	3	11	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	3	3	-	-	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	7	7	後天性免疫不全症候群	-	15	12	ジアルジア症	-	-	1	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	7	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	31	32	-	-	-
	水痘(入院例に限る。)	-	4	3	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	138	40	-	-	-
	播種性クリプトコックス症	-	1	2	破傷風	-	-	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	6	1	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-



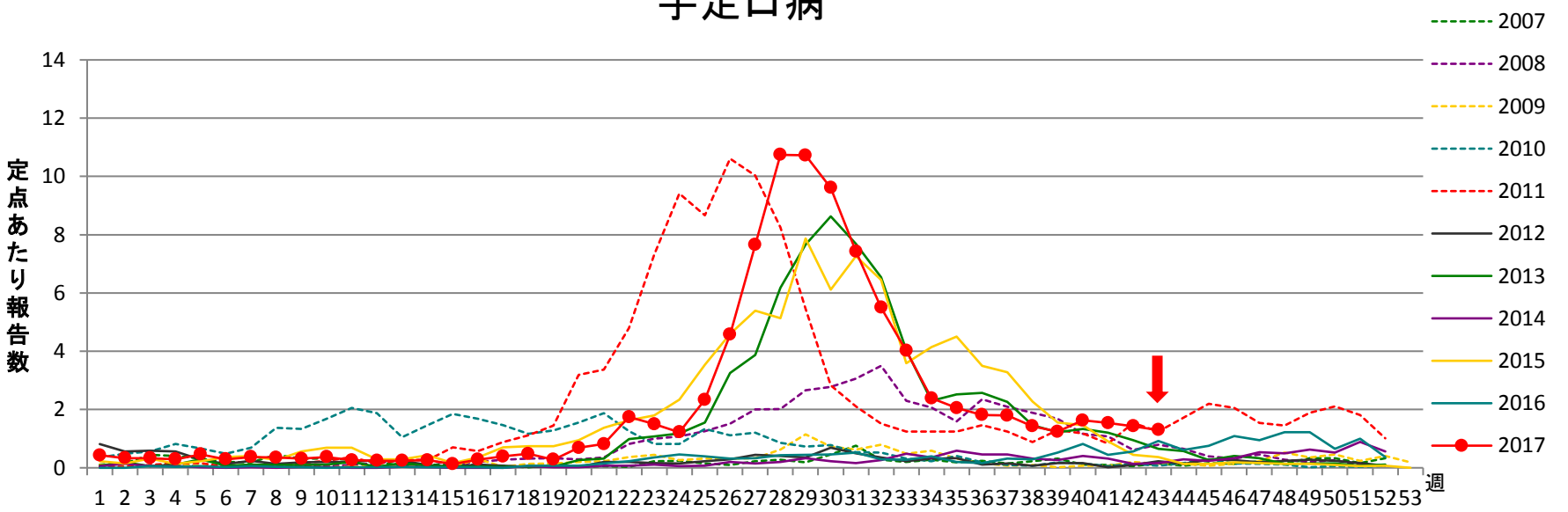
感染性胃腸炎



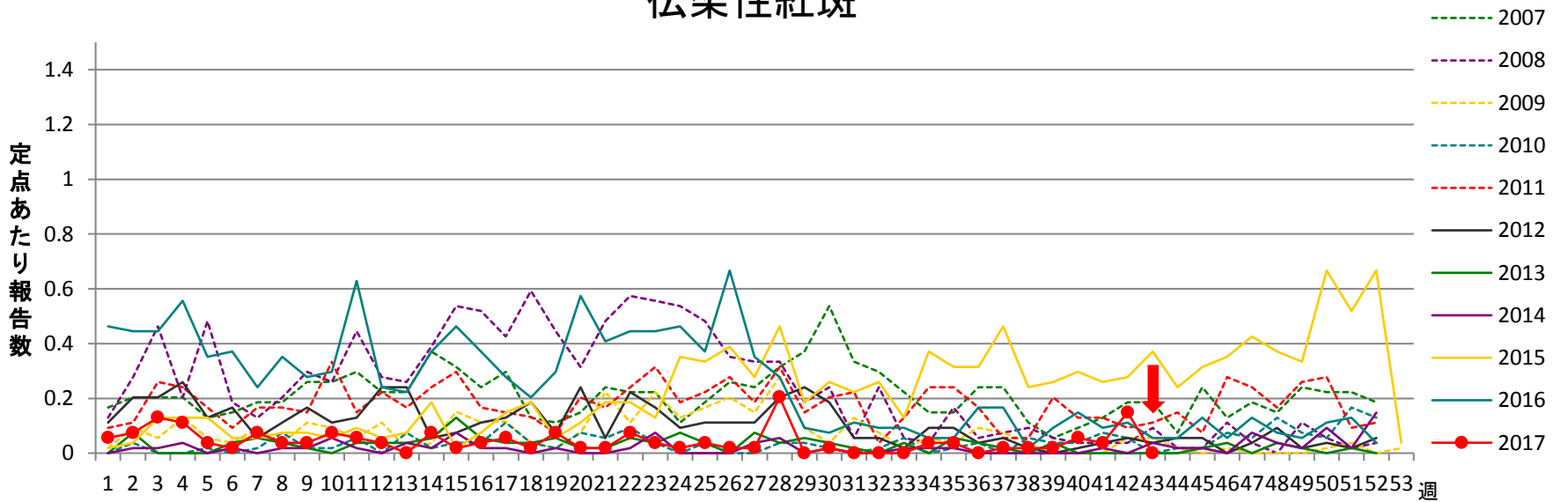
水痘



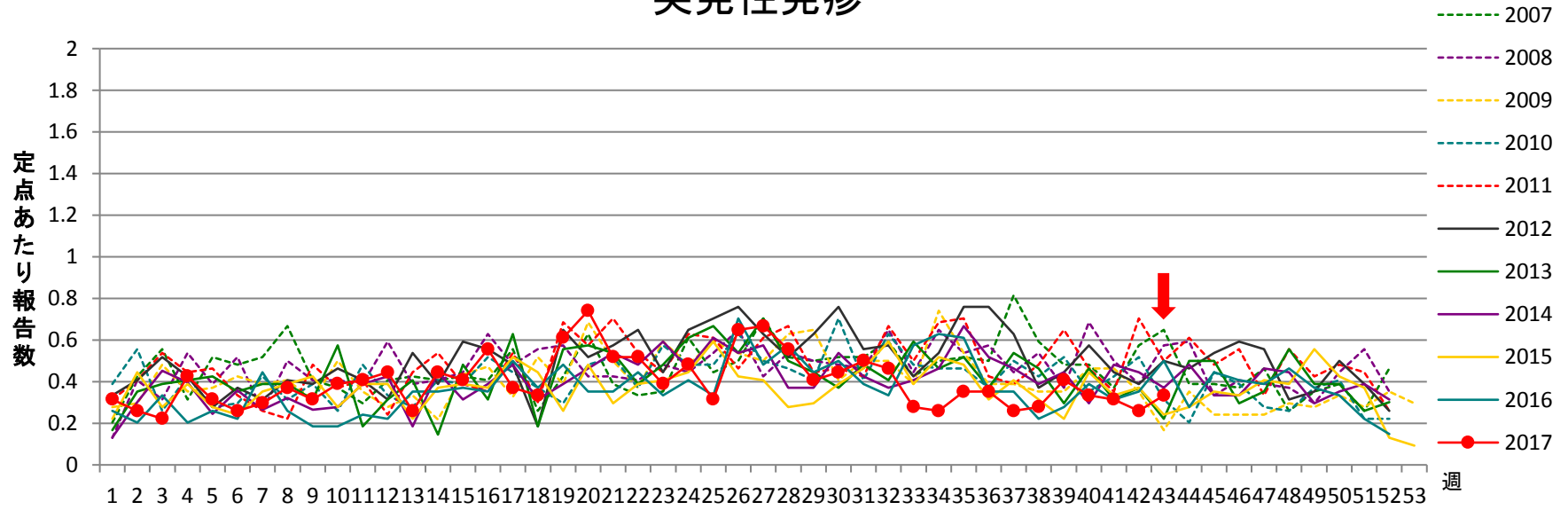
手足口病



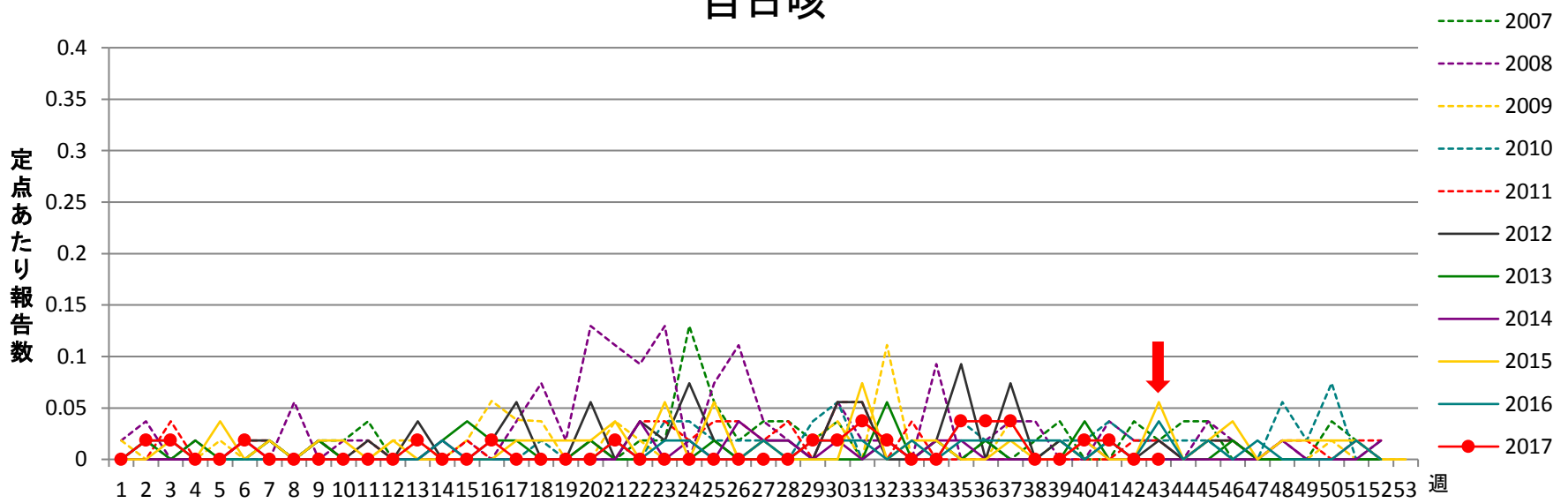
伝染性紅斑



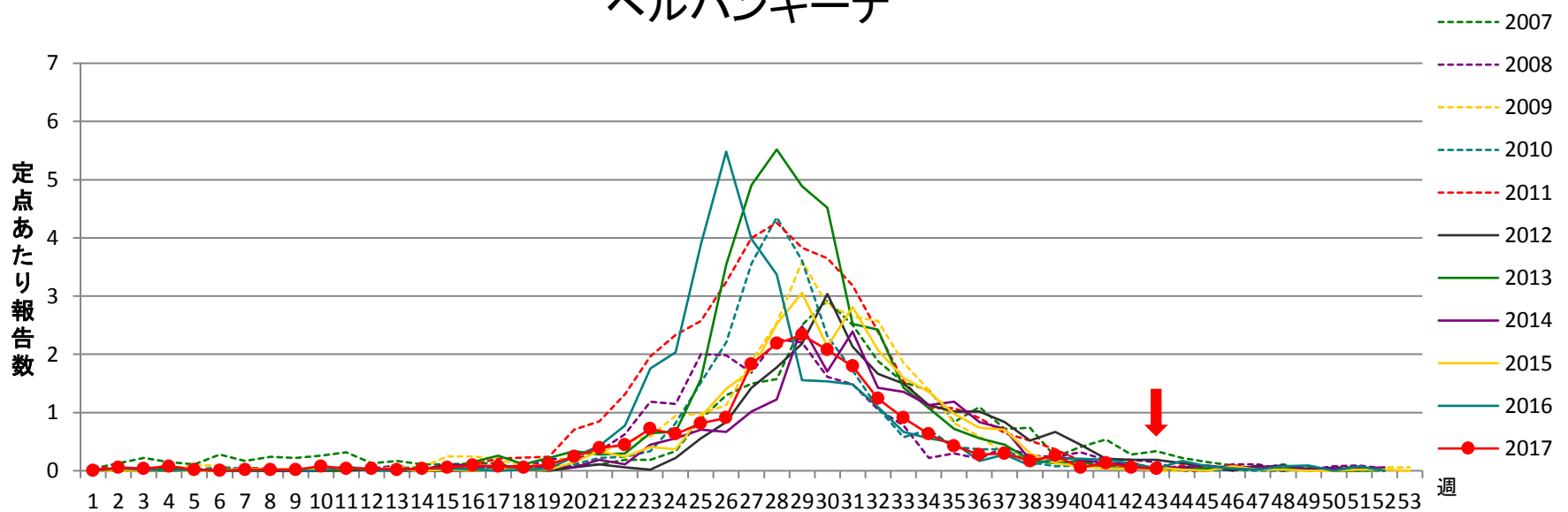
突発性発疹



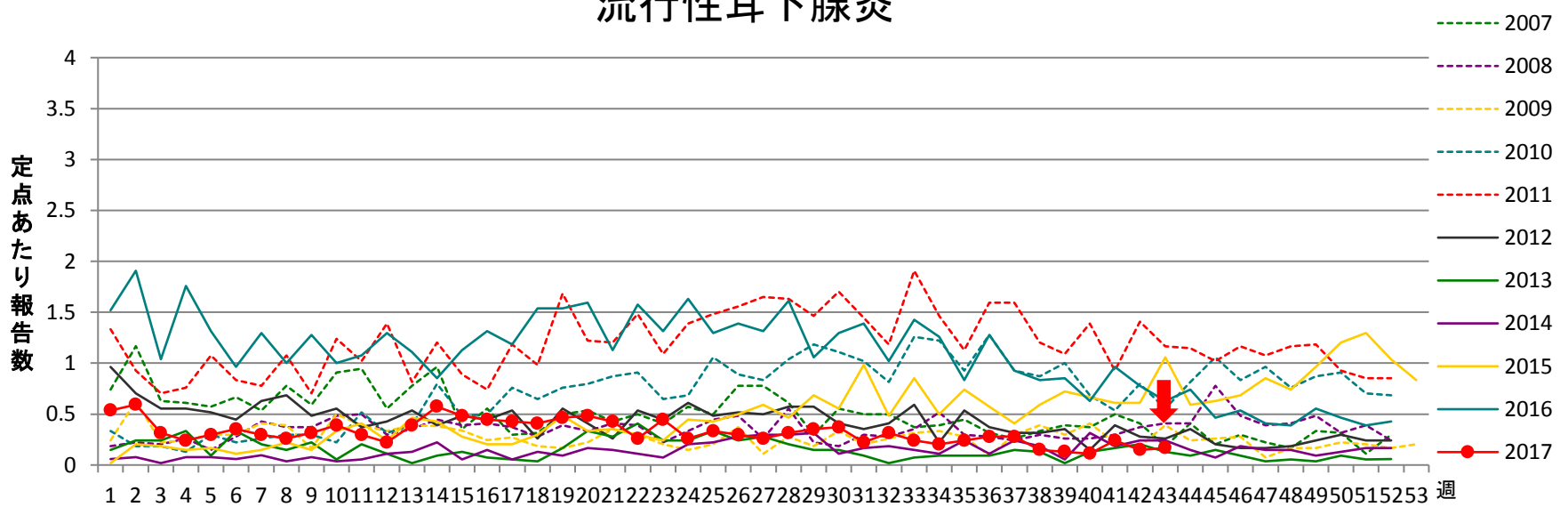
百日咳



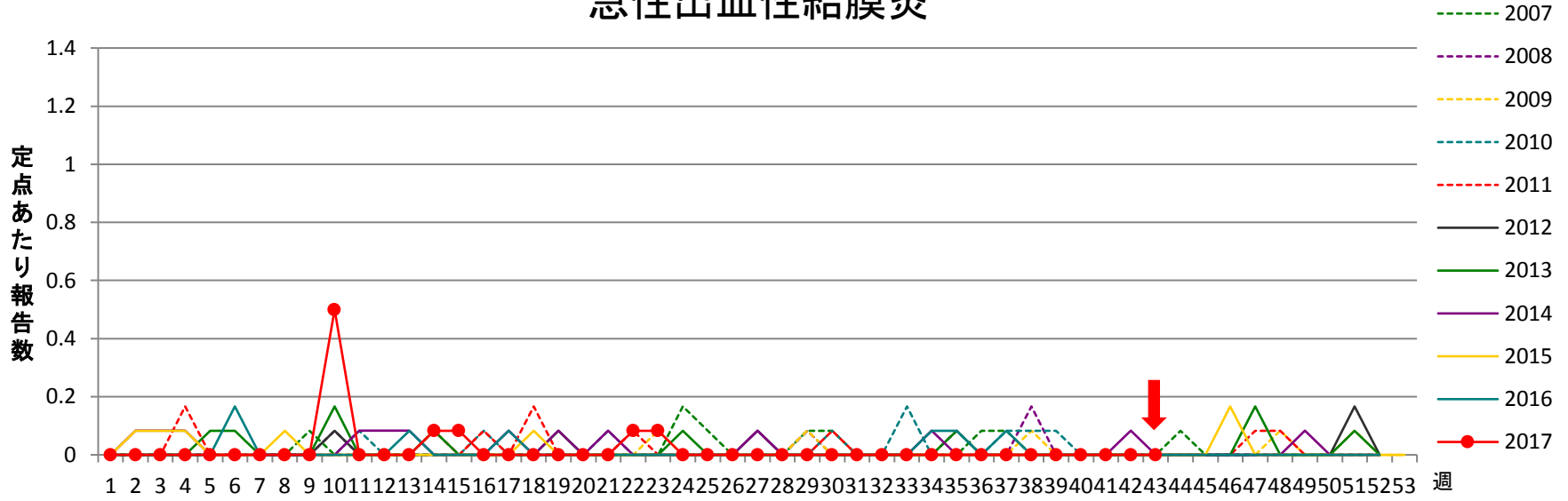
ヘルパンギーナ



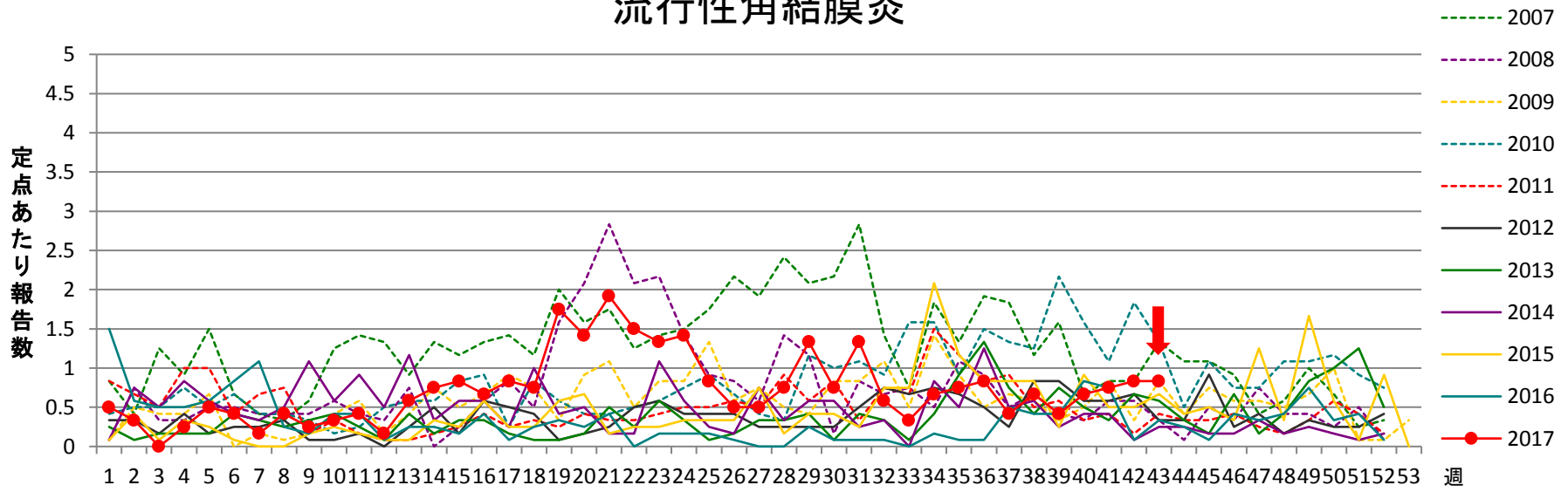
流行性耳下腺炎



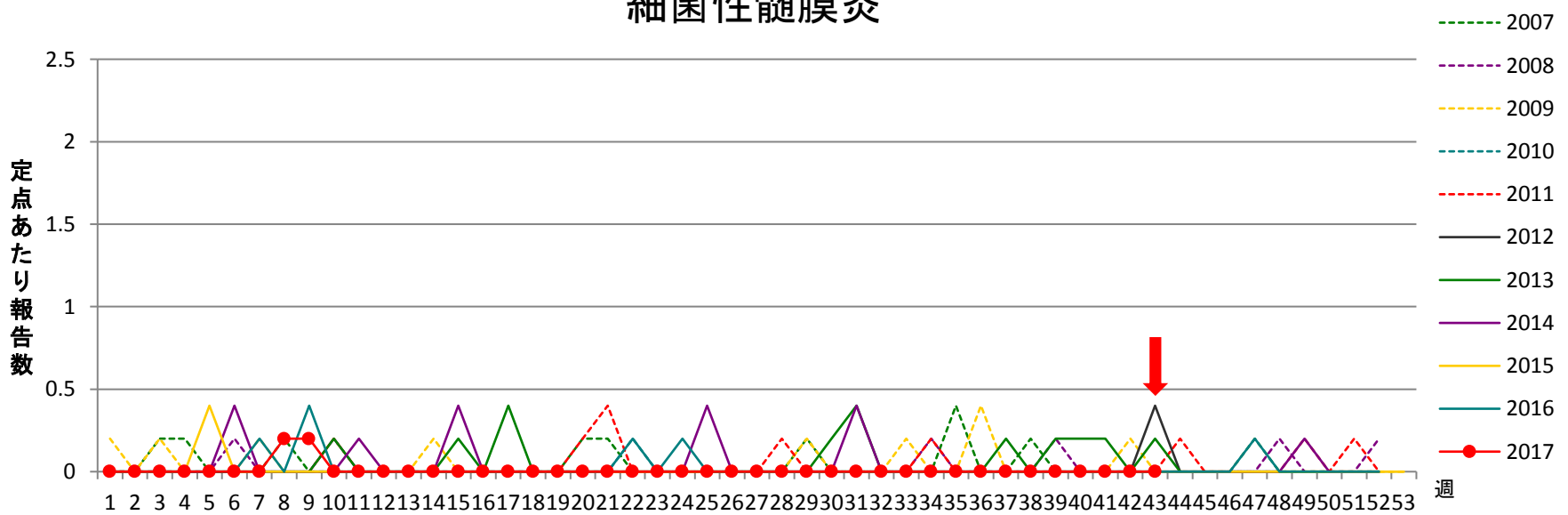
急性出血性結膜炎



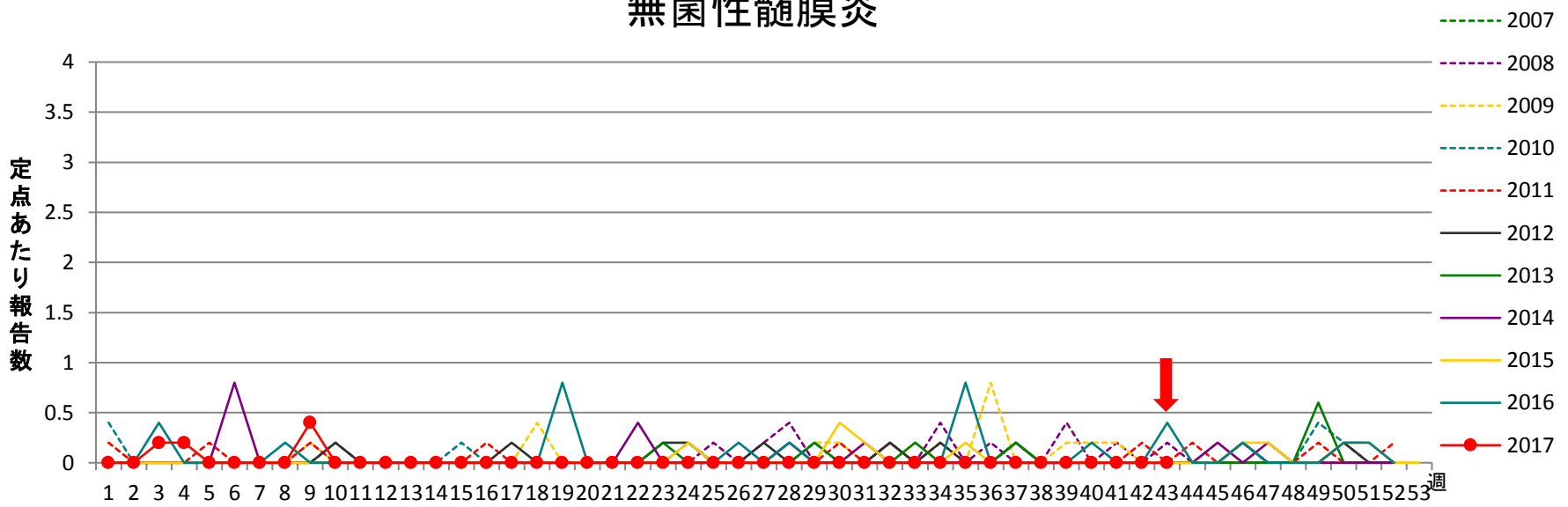
流行性角結膜炎



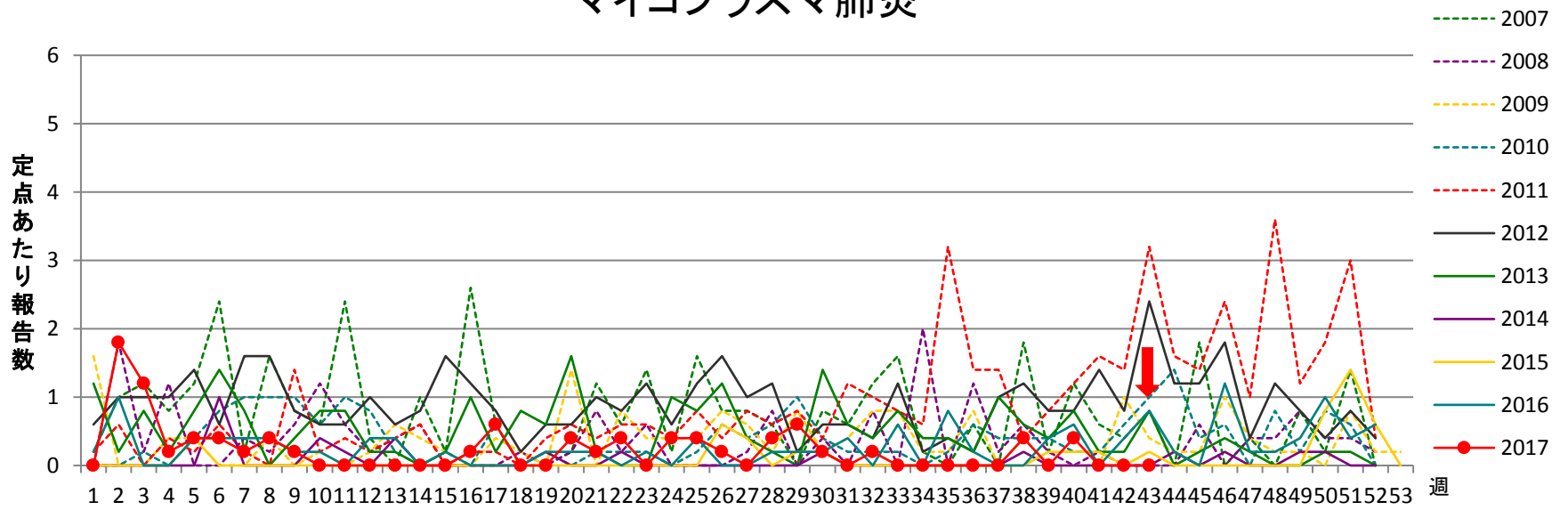
細菌性髄膜炎



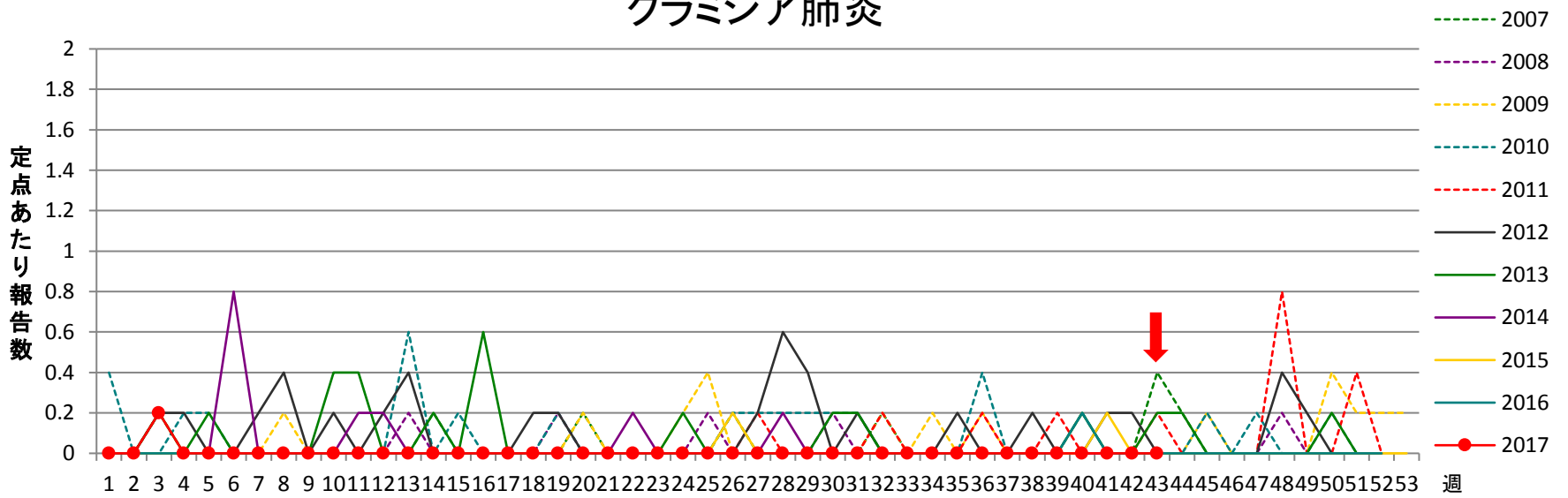
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

